

本学学生が、外国籍住民に向けた認知症サポーター養成講座で通訳を担当しました

本学ヘルスコミュニケーションコース2年生の中村絢子さん、内田あゆみさんが、「認知症サポーター養成講座」に通訳者として参加しました。

この講座は、順天堂東京江東高齢者医療センター内の認知症疾患医療センター相談員（精神保健福祉士）の矢村圭介主任が主催し開催されました。昨年に引き続き、本コースで医療通訳を学ぶ修士課程2年生が、外国籍住民の方のための通訳を担当しました。

当日は、お子さん連れのご家族を中心に多くの方々にご参加いただき、会場は大変賑やかで温かい雰囲気に包まれました。多様な参加者の皆さまと交流しながら支援に携わることができ、学生にとっても非常に貴重な学びの機会となりました。



左から、中村さん、矢村様、内田さん



左から、中村さん、内田さん。準備段階から関係者のご支援をいただきました

本活動は、学生が地域社会と関わりながら実践的な学びを深める貴重な機会となりました。今後もヘルスコミュニケーションコースでは、地域に寄り添った活動を続けてまいります。